

8月27日(月) グアダルーベ寺院、月のピラミッド、太陽のピラミッド観光

今日はメキシコシティ最後の1日。昨日のマラソンの疲れも忘れてシティ市内のグアダルーベ寺院や月のピラミッド、太陽のピラミッドのあるティオティワカン観光を楽しんだ。

グアダルーベ寺院はスペイン征服軍の進入以前に神殿があったテペヤックの丘を占拠する広大なカトリック寺院であり、世界三大聖地の一つでグアダルーベの聖母が祭られている。この聖母は黒い髪と褐色の肌を持ち先住民の人々に圧倒的な支持を得ている。地盤沈下のため傾いた旧聖堂に代わって、1976年新聖堂が建てられローマ法王もここを訪れてミサをしている。

シティから50km北にあるティオティワカン遺跡は紀元前2世紀頃建造されたメキシコ最大の宗教都市国家である。

高さ42m、底辺150m×130mで350年頃に作られたのが月のピラミッドである。死者の道の北端にあるがこの上からの眺めは最高であった。頂上からは死者の道が真っ直ぐに伸びる雄大なティオティワカンの全景が一望できた。

高さ65m、一辺が225mの巨大な神殿が太陽のピラミッドであり、世界で3番目の大きさを誇る。248段の急な階段を登ると頂上からの眺めは絶景であった。昼食は遺跡近くのメキシコ料理のお店で食べ、メキシカンスタイルで写真を撮った。また、夕食のとき高橋さんと荒井さんの素晴らしいダンスが披露された。





















